

108
合2
71

館書圖京東				
一	二	三	四	五
冊	號	架	函	類

大祓踏分草講說

上篇

013883-001-3

108-71

大祓踏分草講說

池田 実信/著

1冊(上27丁)

M30

ABB-0107



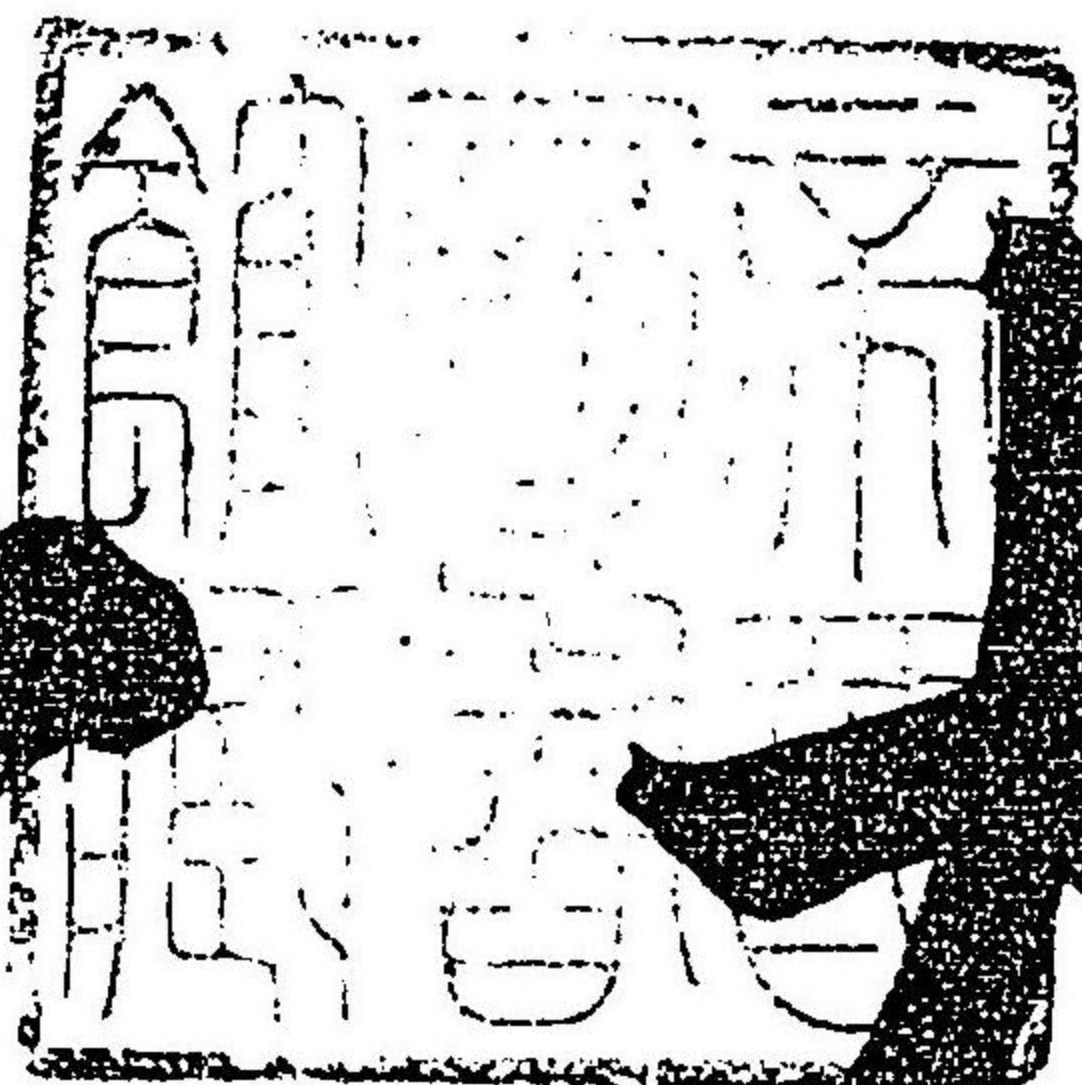
池田實信譯述

大祓踏分草講說

上篇

明治卅年六月發行

大



要道



具於此 書

從四位勳四等子爵對六鄉政鑑



大猷踏分草端文

大哉天詞至矣太詞經緯天地罩御三
才君臣大義教明名分萬世不變神隨
大道是之大道直我國體天降爾來殆
軼一元世奉天職相承相繼于茲一百
二十餘代寔如一代擊壤鼓腹至矣盡
矣猗嗟昌哉天祖大業嗚呼隆哉現皇
大業二業相對如車兩輪進退共度天

以之長地以之久人以之安子孫悠久
莫窮盡期上士固識不過軌威下士愚
嗤彷徨岐路若殿本教目今利用厚生
之術俾之爲先咸之政畧嘗聞天祖無
爲大道雖猶自化教最盛矣何以爲教
曰神習也今世所謂非仁義教然教目
何曰敬曰義曰仁是也三者人々天資
玄德火不能燒水不能漂繩々條々罔

知尾極是則所以元靈所授各人祖先
滾愛傳子凡有罪穢依託神官祓之如
潔大式巍々大小何擇二大業之無知
神理禱神何益不享必矣知傳子仁弗
知不明稟生是上天詞太詞不知可尊
果汚君父國体大事雖曰有智吾敢不
信鄙言自叙

明治十九年二月 權少教正池田實信

凡例

- 一 編中掲クル所考ニト云ヒ考ニ云クトアルハ賀茂大人ノ祝詞考ヲ云フ
- 一 後釋ニ云クトアルハ鈴屋大人ノ大祓後釋ヲ云フ
- 一 後々釋トアルハ藤井高尙ノ大祓後々釋ヲ云フ
- 一 畧解トアルハ久保季茲ノ祝詞畧解ヲ云フ
- 一 講義トアルハ鈴木重胤ノ祝詞式講義ヲ云フ
- 一 隆正云クトアルハ大國隆正ノ著ハセル天津詔詞太詔詞考ヲ云フ
- 一 信云トアルハ實信ト書クヘキヲ他例ニ倣ヒ實ノ字ヲ省キタルモノナリ
- 一 此書ノ前二卷ヲ大祓蹈分草發題畧記ト號ケ第一御禊ノ原因ヨリシテ千座置戸ノ解除ヲ科セ此ノ大祓

ノ成リタル所以ヲ論ラヒ且ツ海外古籍ノ異同風俗
 ノ沿革等ヲ論レ方今ハ天孫降臨ヨリ年歴全ク一元
 ノ歳數ニ歸シ終テ復タ始マレル第二元ノ端緒ナレ
 ハ此第二元ノ中天道如何ナル事ヲ行ヒ賜フ乎人ノ
 得テ知ル處ニ非スト雖モ我が皇國ハ天地未タ成ラ
 サリシ時ヨリノ御傳ヘノ在ル有テ存シ萬世人ヲ住
 マ合ム可キ先ツ地盤ヲ造リ賜ヒ食ヲ足シ兵ヲ足シ
 民ヲシテ悠久衣食ノ患ナカラシムルノ法ヲ整制シ
 賜ヒ而シテ人ヲ産ミ人ヲ立テシメ給フノ世ヲ察ラ
 カニシタマヒ天地夜見ノ三大分判シ完全无缺究リ
 無キ今天地ノ寶象於時始メテ開闢ノ果ヲ結ベリ然
 ハ之ヲ主宰スルノ大君主ヲ建テサル可カラズ是レ
 我カ天皇ハ生テハ坤輿ヲ統治シ賜ヒ死シテハ彼ノ

泣澤ノ社ノ命乞ヒノ古歌ノ如ク高日知シ食ス可キ
 天勅ノ大權素有シ賜ヘルヲ論ナシ此レ之ノ大祓ノ
 詞ノ文ニ明ラカナリ例ヘハ无究ノ天地ハ无究ノ聖
 神ニ非サレバ主宰スルコト能ハズ萬國公法ニモ畧
 論セルカ如ク天ニハ主宰ノ神アリ地ニハ之ヲ主宰
 スルノ一帝王無クバ有ル可カラズト宣ヘナル哉然
 リト雖トモ分テ之ヲ曰フ則ハ第一。日ノ大御神ヲ天
 上へ上ケ奉ルニハ國中ノ天ノ御柱ヲ以テスト傳フ
 是ノ御柱ハ頓テ柄ノ方ハ晷測ナルコト師ノ既ク謂
 ヒ遺レタリ升柄森ノ子ノ方位ニ建ストキハ乃中冬十
 一月其中烝冬至ナリ其日景長壹丈三尺是レ修極也
 夏至ノ節ニハ壹尺四寸八分之レ短極ナリ此ノ御柱
 鋒キノ方ハ大地鎮護固ト東方ヨリ立テ初メ五方ニ

衝立テ賜ヒシ所謂五岳是ナリ天ニハ大会星甲寅ニ
 建シ歳星丑ニ居リ牽牛ニ建シ行リ初ム是レ大吳氏
 合朔曆紀元甲寅ノ歳首ナリ日月俱ニ營室ノ入五度
 ハ歳首曆元ト立タル歳ヨリ七十六年所謂一節也其
 歳毎ニ非サレハ決シテ日月五緯ノ營室ノ五度ニ入
 ルコト能ハズ是等ノコトハ特リ上聖ノミ學ハズシ
 テ知リ給フモノナリ北方ノ首宿ナル斗星ハ六星ナ
 リ此斗星ヲ往昔ノ星名ヲ記シタルモノニ比都伎保
 之ト云ヘリ是レ日辰星ナル七星ノ升柄ト混シタル
 謬傳ナル者ナリ此ノ六星ノ升星ハ天極ヲ距ルコト
 百十九度ナリ比登伎保之ニ非サルモノナルヲ余始
 メテ考ヘ出セル説ナリ是ノ星ノ名正シカラサレハ
 日ノ大御神ノニビナキ御神德何ヲ以テ知ルヲ得ム

乎從テ日ハ七日夜ハ七夜ノ故事モ亦タ石窟戸御段
 モ今日伊勢兩宮ヲ首メ大小諸社ノ神式モ何ヲ以テ
 其真ヲ知ルヲ得ム乎漸々多クノ歳ヲ歴大國主大神
 ノ合朔曆ヲ作ラシ、モ月ノ運行シ始ムルモ潮ノ満
 子モ皆虚傳トナル可キ者ナレハナリ徒ラニ皮表ニ
 ノミ心目ヲ費シテハ弘ク神理ヲ覈ヌルコト能ハサ
 ル者也過ル明治十九年此編ノ草稿ニハ除キテ別冊
 ニ意ヲ竭ス可キ所以ニテ止メタレトモ今回思フ旨
 アリテ未曾有ノ新説ナルカ故ニ先ツ升柄ト北升六
 星トノ差別ヲ明ラカニ爲ムノ意義ヲ以テ日辰ノ二
 字ヲ假字ニ易ヘ示セル者也又升柄第六星ノ傍ラニ
 一小星アリ之レヲ輔星ト曰フ道家是ヲ太山府君ト
 云ヘリ避邪ノ神驗驚クニ勝ヘタリ其修術タルヤ人

間初生ノ形狀于茲始メテ現ハル之レ人々慎ミ守リ
 終身須臾モ離ス可カラサルノ神理ヲ示シ賜ヘル者
 ナリ還説天降爾來高千穂ノ皇居ヲ經テ大倭日高見
 ノ國ニ御遷座アラセラレ然シテ今日ニ至リ殆ムト
 一元ノ歳數ヲ軟キ第二元ノ部門ニ入レリ天降前ノ
 推歩大測算聖神ノ御事蹟ニ徴シ之レヲ基礎トシテ
 而レテ天降爾來ノ第一元歳經過ノ治亂興廢變遷ノ
 跡ヲ推シ求ムレハ預メ第二元ノ行ハル、所以ノ槩
 畧ハ知リ得ラレサルコトノアラメヤモ等ノコトヲ
 記シ此ノ大祓謂ユル神語ヲ讀ムノ楷梯トハナシ矣
 稿未タ訂正ヲモ加ヘサルニ圖ラサル病ニ罹リ竟ニ
 曠シク三五ノ長星霜ヲ歴タリ今于茲門生等屢謂ヒ
 出ツルヲモ默々得アラチハ病間聊カ訂正ヲ加ヘ後ヲ

此祝詞ノ部ヲ先シ之ヲ上刻ニ命セリト爾云

大祓踏分草講說上篇

平田篤胤學門人

權少教正池田實信述

秋田縣由利郡鹽越町

佐々木平治 謹

同縣由利郡本莊町

龜井恭慶 校

同校者加盟連名

一由利郡本莊町守屋傳 一同

伊藤 巽

一同 瀧澤七郎 一同

瀧澤千尋

一同 野邊真直 一同

村岡嘉門

一同 玉米松三郎 一同

高山重美

一同 熊谷英之助 一同

增田象江

一同 牧野雪仙 一同

千葉永尾

一同 三浦半左衛門 一同

高橋正亮



- 一同 熊本伊都伎 一同 笹本三熊
- 一同 矢野覺 一同 諏訪與市良
- 一同 竹内常雄 一同 佐々木清四良
- 一同 淺香五郎八 一同 細矢要治良
- 一同 佐々木藤吉 一同 小林藤四郎
- 一同 藤田章太郎 一同 小田勘兵衛
- 一同 武田喜代松 一同 佐々木五兵衛
- 一同 長谷川武助 一同 池田太良兵衛
- 一同 佐藤甚之助 一同 和田與兵衛
- 一同 牧野銀右衛門
- 一同 由利郡矢嶋町小番信 一同 藤田幸實
- 一同 藤田幸忠 一同 小松亮太良
- 一同 瀧澤前郷小濱大住 一同 土田瀧宗

- 一同 石澤館村 大庭大和 一同 龜田町 加藤周之助
- 一同 佐藤雄治郎 一同 玉米 遠藤寅松

祝詞之部上

○六月晦大祓 十二月福之

延喜式八ノ卷ニ因レリ是ハ大内裏ノニ口朱雀門ニ
テ行ヒ給ヒレ御儀式ナリ

○集侍親王諸王諸臣百官人等諸聞食止宣

集侍ハ進退度ヲ亂サス禮文整シク勳ナハレルサマ
ヲ云フ諸聞食止宣ハ親王ヲ首メ集ヘル人々ヨ祓ノ
ワザヲ爲シ是ノ大祓ノ詞ヲ神ニ白レ上ケマタ諸人
ニモ讀ミ聽カシムルガ故ニ各々慎ミテキ、給ヘト
云フコトナリ神祇令ニ中臣宣祝詞トアル義解ニ以

告神祝詞宣聞百官トアルカゴトシ
抑是ノ大祓ノ詞ハシモ皇祖天神ノ大御口ツカラ御
傳ヘ坐セシ天ノ御儀式ニシテ皇御孫命ヲ朝沫ノ至
リ止マル限リ所治食サシメ賜ハム最モ尊トキ大御
音ニナモアリケル文中ナル天津祝詞乃太祝詞事ハ
修理固成ノ御大業ニシテ造化ノ大用ニカ、リ此大
祓詞ハ我天皇ノ天地共窮リ無ク四海萬國ヲ統御給
フ御大業ナルモノニシテ是レ之ノ二大業ハ所謂車
ノ兩輪ノゴトシ是レ則テ世界無比ナル我が大日本
國ノ國體ニシテ萬世易フベカラサル神隨ノ大道ナ
ルモノナリ然ルチ世ニ此ノ天津祝詞乃太祝詞事ト
イフハトホカミエミタメノ五ツノ神音ヲ云ヘルナ
リトイヒ慕ル人モアレド淺ク考ヘサルノ過ナナリ

是ハ對馬ト部ノ家ニ傳ハリタル龜ウラノ祭文即チ
龜トノ祝詞ナルモノニシテ事異ナルモノナリ隆正
ノ釋日本紀ノ寫本ヲ引テ天確女之命一名龜津比女
命ノ鹿ニ代リテ太トニ仕ヘ奉シニ依リテ天津詔詞
乃太詔詞之命ト云フ御名ヲ賜ハリタリト云ヒト庭
神ニ座奇真智命天津詔詞太詔詞命並ヒ坐レテト庭
ニ預リ給フコト等此ノトホカミエミタメテ祓禊ノ
天津祝詞乃太祝詞事ニ爲ムトクサグサ説キタレト
モ甚ク異ナルモノナリ其由ハ後ノ天津祝詞乃太祝
詞事乎宣禮トアル下ニ委レク謂フベシ

○天皇朝廷 仕奉 比禮挂伴男 手襪挂伴
男 靱負伴男 劔佩伴男 伴男 八十伴男 始

官々 仕奉 人等 過犯 雜々 罪 今年

六月晦之大祓 祓給 清給事 諸聞食止宣

是ハ百官ノ大祓ノ時ノ詞ナリ此ノ二段ハ宣命ナリ
天皇朝廷爾仕奉留ハ參井集ナハリシ人々ヲ云フ比
禮挂伴男ハ御食ニ仕奉ル采女ヲ云フ手襦挂伴男ハ
大御食造リ仕奉ル膳部チイヘリ大殿祭乃祝詞ニ比
禮懸伴緒襦懸伴緒乎トアル上文ニ皇御孫命朝乃御
膳夕乃御膳仕奉流トアリテ此ノ二伴男ナルコト明
ラカナリ鞆負伴男劔佩伴男ハ後釋ニ後世ノ六衛府
ノ類ヒノ武官チイフナリ伴男乃八十伴男乎始豆ハ
後釋ニ百官ヲスベ云フナリ始豆ハ部々ノ長ヲ始メ
テナリ官々爾仕奉留人等ハ後釋ニ官々ハ即十上ノ

八十伴男ナリ仕奉ル人ハ其長々ノ下ニ屬テ仕奉ル
官人ドモナリ過犯家牟雖々ノ罪乎ハ後釋ニ過トハ
殊更ニ心モテナスニハアラテ覺ヘズ犯スチイフ犯
ハ慎ミアスマシキ事ヲ慎マズ等閑ニ大ロカニスル
チ云テオカスナリ略解ニ此ノ犯ノ假字チオニ非ラ
ズチナリト字鏡チ引キテ云ハレタレド惟ニ字鏡チ
ノミ信ヒタルノ謬リナリ犯ハ侵也悟ハ慘ナリ憎也
等チ以テ處分スベキ處ニハアラズ今年六月晦之大
祓爾ハ考ニツゴモリノ日ハ月隱ノ日ナフ言ニテ月
立ノ日ニ對フ言ナリト云々師ノ天朝無窮曆ニ一月
チ朔望晦ノ三ツニ分テ云ヒタルモノニシテ末十日
マカリガ間チ月隱ト云ヘリ月ノ漸クニ隱リ行ク頃
ナレバナリ其中ニ三十日比ロニアタル夜ハ月隱ノ

キハミナリ古今集春下業平朝臣ノ歌ノ詞書ニヤロ
ヒノツゴモリト有リテ春ハイクカモアラジト思ヘ
バト詠ヨリカゲロフノ日記ニツゴモリニ成リヌレ
ド人ハ卯ノ花ノカゲニモ見ヘズ二十八日ニツ云云
榮花物語ノ鳥邊野ノ卷ニ十二月二十二日ノ事ヲツ
ゴモリニ成ヌレバ云々又袂衣ニモ見ユミナ下旬ニ
ナレルヲ云フナリ云々信云茲ノ晦之トノモ有リテ
日字ナキハ字彙ニ晦月盡也トアル意ヲ取ラレタル
ニテ後ノ今年六月晦日夕日降乃大靛爾云々トアル
ハ古レヘノ雅文ナリ祓給比清給事乎ハ此ノ祓トイ
フ管ヲ諸家説多カル中ニ考ノハハラハヘテ約メ
タルナレハハラヘト云フベクハラヒト云ヒテハ下
ヘ續カズ後釋ノハハラヒハ自ラスルニイヒハラヘ

ハ令祓ニテ人ニセシムルヲ云フ故ニハラヒト訓レ
タリ講義ノハ此祓ハハラヘト訓ベシ朝廷ヨリ百官
人ニ令祓タマフ所ナレバナリ畧解ニ今按ニ或人モ
云ヘル如ク書ドモニハラヒトイフコト無クシテハ
ラヘトノミ有レバナホハラヘト訓ムサ是トスベシ
隆正ノハハラヒハ表ベノ塵ホゴリヲ拂フニテ輕シ
ハラヘト云ヘバ心ノ底ノケガレヲオシ出シオヒハ
ラフ意ニテ重シ云々信云皆據ロアル説ナレドモ是
ノ祓ノ原ハ皇祖神伊邪那岐命豫美ノ汚穢ニ觸レ給
ヒテ御身ニツケル物ヲ棄テ給ヒ大御體ハウナ潮ニ
潜キソギハラヘ給ヘリ是ヲ以テ見レハハラヘハ
本義ナルベシ人事所作上ニ渉ルハソモ々々スエナ
リ諸聞食止宣ハ前ニ同レ

○因ニ云フ是ノ祓ト云フハ元皇祖神伊邪那岐命ノ御禊シ給フニ始マリ其御功德ニ依リテ日月星辰山海丘陵川澤等各々常登婆ニ司治食ベキ御子神ニ夫事ノ御言依シ爲給ヘル是則ナ今天地ノ實象悠久易ベカラザル御神德ニシテ書紀ノ所謂度事戸トハ是レ茲ノコトヲ詔ラシ賜ヘリト畏ユカレド推量リ奉ルニナモ本註ニ建絶妻之誓ト書テ絶妻之誓此云許等度私記ニ度者猶如言度ト古事記ヲ引テイハレタルモ其起キ靴ヲ隔ツルノ歎アリ特リ縣居大人コノ事戸ヲ異處ナラムト云ハレタルソ卓レタル説ナリ之レ本教ノ大眼目ニシテ天詞太詞ノ因リテ以テ出ツル所凡ソ形質アル物悠久其ノ狀勢ヲ變ユル事能ハサル所以我ガ

天皇ハ坤輿ヲ統御メ賜ヒテ天地ノ共々究マリ無キ神勅ノ尊トキ理由等不敏余ガ如キ者ノ得テ知ル所ニ非ズトイヘドモ厚ク師翁ノ教ヲ奉シ天地泉ノ三大分判シ今ノ天地ノ實象ト成リタルハ之レ開闢ノ結果然レテ復々大革命ノ大運形氣究極リナキ生々化々ノ大順環悠久變動ナキハ是レ皇御孫命乃大御世ニゾアルヲモ覽ラク俗意ヲ避ケ考へ察ルベシ余ガ新説ナリトシテ勿嘲リソ尙ホ厭カズマニ其主義執リ總テテ之レテ曰ハゞ恐コカレド造化參神ノ大元靈氣界ノ聲モ無ク臭モナク無爲ノ大神德ヲ具ヘ賜ヒ寂寥トシテ無始ヨリ天ノ眞區洞ニ神トモ神トバマリ坐マスト云フコト固ヨリノ御傳ナレド近代諸家ノ説稍行ハ

レ初學ノ楷梯ニハ便ナレドモ學事漸歩ト共ニ遂
ヒニ岐路ニ陥リ其極害ノ及ベル擧ルニ違アラズ
故ニ物學ビテ爲シ世人ニ莫ノ道ヲ傳ヘムト欲ス
ル士ハ特ニ能ク注意アリタシ抑伊邪那岐伊邪那
美妹^{イハヒ}妹^{イハヒ}二柱ノ神ハ群品ノ祖吾人ノ大元素ニシテ
天地ト共ニ榮ユ可キ神物ナルモノナリ遠ク事物
ノ理ヲ微証スルモ可ケレドモ尙ホ近キ此レ之ノ
神物ニ覈メタラムニハ譬ヘ泰古ノコトハ傳ヘナ
ケレバ云ヒ難シト雖ドモ邇ク已レノ身ハ何ニ因
リテ化レルヤ母胎ニ在リシトキハ何カナル形質
ニシテ何ヲ以テ母ノ血氣ヲ其子ノ臍ヨリ稟ケ納
レシヤ將タ分娩シ其容貌タル大拇ヲ下ニシ四指
ヲ上ニシ固ク之ヲ握リ口ハ只阿々音ヲ出スノミ

師大人云ク世ニ曰フ阿字本不生ニアラデ字字本
不生ナリト云ハレタルゾ信トニ然ル可レ大衍ノ
數五十ナリ凡テ天地間ノ物悉ナ中央五ヨリ起リ
テ五ニ歸スレハナリ一向キニ五十音ノミニ聊賴
シ悉曇又ハ磨光等ノ活用ヲ以テ背揣ニ我カ國古
典ノ音韻ヲ縱ヒマ、ニ解キタルガ如ク誇リ云フ
等ハ嗤フニ絶エタルコトナル可シ例ハ神ノ御名
ヲ以テ其神ノ御功德ヲ知り疆^{キマ}リナキ先キヨリ限
リナキ後ニ及ブコト等信説ノ有無ニ關ラズ知リ
得ラル、ニ足ルガ如ク渾^ステ物ノ名モ悉ナ其意義
ナレトモ中古以來漸次人爲ニ出テタル名稱ノ如
キハ其例ニハ至リ難シ神爲ニ出テタル名稱ノ如
キハ各物ノ么微肉眼ノ視拆ケ難キ時ヨリ名ツケ

其質歳ヲ歴ルニ隨ヒ廣大ト成リ竟ヘタルガ如キ
 物アリ輿地是ナリツテト云ヘハ形質ヲ云ヒクニ
 ト云ヘハ運転スルノ大用ヲ云フモノ也五十音等
 ノ私學ビノ活用ヲ以テハ決シテ譯カリ得可キモ
 ノニ非ズ
 還說終日呱テ喉哽カズ之レヲ名ケテ和ノ至リト云
 ヒシ人モアリシ也此嬰兒百雷霆ノ激動スルモ毫モ
 恐怖スルコトナシ况ンヤ白刃眼ニ閃々タルモ兕角
 ノ銃モ虎熊ノ利牙モ厝コト能ハザルハ天賦ノ機ト
 モ妙トモ口ニ百リ道フ可カラザル者ト雖トモ上古
 ハ是等ノコトハ凡テ能ク音ヒ教ヘ慎ミテ能ク其教
 ナ聽キタルコト明ラカ也是ヲ以テ名師ニ就テ育ク
 之ヲ學ビタルムニハ天地開闢モ人身ノ化成スルモ

第一精神ノ往來スルモ此ノ肉身ニ徴シ燦然タルコ
 ト心智キ人ハ思ヒ中ハニ過キナム者ソ是レテ真ノ
 詰學トハ云フ也世ニ之レヲ知ルノ名師果シテアル
 可シ日本臣民タラム者男女トナク老少トナク靈柱
 太ク高ク磐根ノ極ニ衝立テ火ニモ燒ケシ水ニモ溺
 レズト益々精神ヲ琢磨シ君父ニ奉仕スルハ我國固
 有ノ大道ナリ雖然世界一般各人第一貴フ可キ精神
 ノ因スル所以死シテ其亡靈ノ消滅スル歟將タ悠久
 何地ニ鎮留スル者ナル邪其母胎ニ生育セラレ分婉
 シテハ其子ノ容貌産音徒ヲニ爲ス可キ者ニ非ラサ
 ルノ理由アルヲ世ニ之ノ神理ヲ温ヌル者アルコト
 未タ嘗テ聞カズ易曰原始反終故知死生之說精氣爲
 物遊魂爲變是故知鬼神之情狀云々トモ云ヘリ此事

タル人間諸ヲ身ニ取リ行フ可キ樞要ナル者ニシテ
生ヲ保養シ道ニ入ルノ神示是ゾ天地ノ間ニ塞ル可
キ大術ナル者也軻ガ云ヘル浩然ノ炁等トハ日ヲ同
シクシテ語ル可カラズ扱之ノ廣大无邊譬フルニ物
ナキ一大元氣ノ大活動ノ如キニ至リテハ神ノ御上
ト雖トモ主ヲト其ノ事ニ與リ坐サザリシ神等ハ其
蘊奧ハ知リ給フ可キモノニ非ズ例ハ大國主大神ノ
神業ノ始終ヲ奉察スルニ是レゾ顯幽ニ亘リ給ヒテ
普ク世界ノ大宗師ト謂フハ此ノ大神ヲオキテ佗ニ
覓ムル者ナレ然リト雖トモ夫ノ元靈ノ元靈タル所
以玄妙不測ノ神理ノ如キニ至リテハ此大神ト雖ト
モ與リ給フコト能ハズ天網恢々疎ニシテ漏サズ人
惡ヲ幽冥ノ地ニナストキハ鬼神之ヲ罰スト道フ可

キ部分ハ御本居天ノ日隅ノ宮ニ大座マシテ長シヘ
ニ其御大職ヲ知宰リ給フ者也彼ノ天堂捺落説ノ如
キハ後世婆羅門浮屠等ノ雜駁説ヲノミ世人ノ之ヲ
硬信レ靈魂ノ大區域アル所以トハ夢謬ルコト勿レ
此大元靈タルハ釋迦モ孔子モ絶エテ知ル可キ者ニ
非ズ況ヤ其他ノ者ニ於テヤ何ヲ以テ斯ク揚言ス
ルゾナレバ至近身ニ取リ行フ可キ事ハ更ニ莫シト
モ譬ヲレタリトテ謂ヒ譯ノ立ツ可キコトニ非ズ儻
クハ晚齡ニ及ビ聊カ意付ン處モアリシ歟是レハ其
効至テ渺ク草臥レ設ケノ甚タ多キモノナリ故ニ生
ヲ養フノ要壯齡ノ時ヨリ行フヲ以テ可トス過去ト
云ヒ現在ト云ヒ未來ト云フコトヲ物識顔ニ己レテ
以テ他ヲ背揣ル等ハ棒腹絶倒極マル者ナリ今余カ

説ク處ハ師翁ノ教ヲ奉シ單簡之レヲ示スヲ要ス主
トスル處ハ神ヲモ人ヲモ欺罔スルコト無ク聊カ心
裏餒ル處ナク苟クモ疑心闇鬼ヲ生スルカ如キノ惑
ヒナク學問ノコトハ鬼モ角モ緩急其勢ヒテ發スル
ニ及ビテハ雷霆電激モ耳目ニ入ルナク況ヤ英魯獨
佛ノ蕃人ニ於テアチヤ祓ヲ爲スノ大要領唯々之レ己
レヲ虚ニスルニアリ閔人此ノ意ヲ以テヨ倚シ人
リ此ノ義ヲ明ヲカニ爲ムト欲サハ面シテ深ク問ヒ
試ミヨ余ハ其ノ訊ヲ俟ツ者ナリ

○高天原神留坐

考ニ留ハ豆麻理ナリ都麻流ハ即ナト、マルナリ云々

○皇親神漏岐神漏美乃命以

後釋ニ親ハ出雲神賀詞ニ親神漏岐云云
孝德天皇紀ニ今我親神祖之所知穴戸國中云々
信云是ノ例ニ倣ヒテ親神漏岐トツ、ケ讀ムベシ

○八百萬神等

ハ數ノ多キ極マテ云フ

○神集集賜

後釋ニ都度閉ハ合集ノ約リニテ他ヲ集ハシムルナ
リ茲ハ詔命ヲ以テツドハシムルチイヘハ都度閉ナ
リ云々

○神議々賜

深ク遠ク懇到ニハカリ玉ヒテ漏ル、事ナク議リ定

メ給ヘルサイフ

○我皇御孫命波。

後釋ニ我ハ皇祖神タナノ我ナリ云々

○豐葦原乃水穗之國乎。

信云皇御孫命ノ長久ヘニ高御座ヲ占メサセ玉フ全世界ノ中國ト云フノ意ナリ即チ是ノ日本國ヲ云ヘル稱ヘ名ナルモノナリ

○安國止平久所知食止。

八隅シ、吾天皇ト云ヘル事ニテ百八十國ヲ安ラケク平ラケク領シ食セト云フコトナリ云々

○事依ハ後釋ニ字ノ如ク事ヲ寄スナリ云々

信云コノ事ハ天ノ儀式ノ如ク爲ヨト詔リシ賜ヒシ天津宮事ナリ

○奉伎。ハ信云後ノ世ニ云フ言トハ甚ク差ヒノアル

所ニシテ苟且ノ奉ルニ非ラズ天壤无窮此ノ大地ヲ御依任アラセラレシモ素ヨリノ御定ノアルアリテ然シテ時運于茲成熟テ皇御孫命ニ依シ奉ルコトニナモ新タニ其事ノ出テ來テ爲シ給フニハアラズ禮ノ大本タル我が皇大御國ノ御大禮ノ儼然ナル豈尊フトカラズヤ

○如此依志奉志國中爾。

信云豐葦原ノ水穗ノ國爾ナリ上ニハ依志奉伎ト云ヒテ鄭重ニ僅カ依シ奉リ伎ト詔リシ賜ヘルニテ參

神ノ天地ヲ銘造リ給ヒシコトヨリ人ノ世ヲ建テ給
フマテニ繫リタル微妙キ神文ナリ其ヲ又タナリ返
シ依志奉志國中ト奉志ノ志ニテ云ヒツ、クル文法
ノ絶妙ナル彼ノ祈年祭ノ祝詞ノ手肱爾水沫畫垂向
股爾泥畫寄氏トアルヲ後釋ニ多クノ中ニテ僅摘出
テ云フ古文ノ例ニテ田ヲ佃ル始終ノ業ドモテ皆ユ
レニ含メタリト甚ク稱メラレタルハ實ニ然ル事ナ
レトモ茲ノ文ハモ一トセノ田ヲ佃ル始終ノ業ヲ皆
含メタルガ如キニハアラデ其ワザ廣大ナリ人ノ世
トナリテ書キツタヘラレタルノトハ迥カニ異ナル
皇祖神ノ大御口ヅカラ御ツタヘ坐セシテ直ナニ書
キ傳ヘラレシ最モ實キ言語文章ノ大本ナルモノナ
ルガ故ニヨク々々其本末ヲ知り辨ヘナホ皇祖神等

ノ御言ノ尊フトキノ極ミナル事ヲ識リ辨フ可シ

○荒振神等平波。

考ニ荒ビ伊知速ビテ惡キ神等ヲ云フ振ハ其アリサ
マナイフ辭ナリ神代記ノ一書ニ有惡神名曰天津瓊
星亦名天香々脊男請先誅此神而後獲葦原中國云々
トモアリ信云是ノ葦原ノ中國乃荒アル神ノミニ限
ラズ草ノ垣葉ニ至ルマデ荒アル部類ナレドモ先ツ
天ナル荒アル神ドモテ誅メ玉ヒ然レテ此ノ中ツ國
ノ荒アル神ドモテ撥ヘ給ヒ天ヲ清メ地ヲ淨メ而シ
テ皇御孫命ヲ天降シ給ハム神ハカリノ最モカシコ
キ御議リナルカモ

○神問志爾志比。

信云語ヲ省キテ云ヒタル言ニシテ主ト大國主神ニ
カ、レリ既往將來ノコトゞモ莫巨細サニ問ハシ賜
ヘルナリ

○神掃 掃賜 比氏

後釋ニ神掃云々ハ荒振神ニ係リ神問云々ハムキト
大名持神ニ係レリ荒振神ト云ルハ全ク殘賊横惡之
神ト書紀ニアル如クノ神ノミニアラデ凡テ天ツ神
ニマツロヒ依リ來ズシテ疎々レキ神ヲ廣クイヘリ
云々

○語問 磐根樹立

語問志ノ志ハ是レマデ言語ヒレ磐根樹立草之垣葉
ヲモト云ヒタル過去ヲ語リタル志ナリ磐根樹立ハ

大殿祭ニ磐根木乃立トモアレドモコ、ハ後釋ノ根
ハ添テイフナリ屋ヲ屋根羽ヲ羽根杵ヲ杵根矛ヲ矛
根鳴ヲ鳴根トイフ類ナリ樹稱多知ト訓ベシ乃ノ字
衍ナルベシトアリ云々

○草之垣葉 語止

後釋ニ朝野群載ニ破ト書リ破ノ字又片トモ書ルト
ナ合セ思フニカキ葉トハマツ凡テ草ハ大カタ三葉
五葉ツ、並ヒテ生ルモノナルニソチカキトリタゞ
一葉ナド殘リテアルサマチ以テイフ詞ニテ意ハタ
ダイサ、カノ一葉マテト云フナルベシ止豆トイヘ
ルハ今ノ世ノコ、ロモテ思ヘハ自ラ止タルガ如ク
聞エテ乎モト云フニカナハヌガエト聞ユメレド然

ラズ夜米ハ令止ノ約リタルナレバ他ヲシテ止メシムル意ナリト云々

○天之磐座放。

考ニ天ニオハシマス高御座ヲ離ナテナリ云々

○天之八重雲伊頭乃千別千別。

後釋ニ伊頭ハ稜威ナリ云々千別ハ道別ナリ

○天降依奉如此依奉四方之國中登。

考ニコレヨリハ神武天皇コノカタノ御代ヲ申セリ下ノ條々然リ後釋ニ四方ノ國中ハ天下四方ノ國中中央ナリ此ハ神武天皇ヨリノ御事ナレハ即チ其

大御代ヨリ云ナラヘル詞ナルベシ云々信云此ノ二説トモニ此文ヲ檀原宮ノ事トノミ見ラレドモ必ラズソレトバカリハ決メガタキ事ゾ多カル何ニトナレバ上文ノ豊葦原ノ水穗國ヲ安國ト平ケク所知食ト事依奉伎トアルハ此ノ日本國ナリ此日本國ノ西南ノ遇ナル高千穂ノ峯ニアモリ着カシメ其處ニ高御座ヲ占メサセ賜ヒタルヲ以テ察レバ頓テ世界ノ中國ナル事論ヒナシ御天降リヨリ御三代ノ年數約略二千五百年ノ間高千穂ノ宮ニ天ノ下シロシ食シ給ヒ然シテ神武天皇ノ檀原ノ宮ニ移リ坐テ天ノ下シロシメシ玉フハ日本國ノ中央ニシテ彼トイヒ是ト云ヒマコトノ中國ナルガ如シ何國ニテモ天皇ノ大坐マス處ハ中國ト云フベキモノナレドモ只

ニ此ノ國ノ事トノミト見ナシテハ上文高天原ト云
フヨリ文義更ニ通ハズ茲ノ依サシ奉リシ四方之國
中トアルハ殊更ニ全世界ノ國中ナルコトヲタレニ
知ラシメ給ヘル文ナリ大神宮詞爾皇神乃見靈志坐
四方國トアルヲ以テモシラユ

○大倭日高見之國平

信云元ト高天原ヨリ御覽ナハシ給ヒテ豐葦原ノ水
穗ノ國ト詔玉ヒ御天降り后ナ御三代ノホドハ何ト
ノ玉ヒタリシカハ知ラチドモ是ノ大倭日高見之國
トアルヲ以テ思ヒミレバ筑紫ノ日向日高見之國ト
カ云ハレタルモノナラムカ是ヲ神武天皇ノ御世天
種子命乃如此書キ改メラレタルモノナルベシ陰正

モ云ハレキ

○安國止定奉氏

後釋ニコノ安國ハ畿内ノ大和ヲイヒテ大宮敷イマ
シテ安見シ玉フ國ト定ムルナリ云々
信云是モ前ノ段乃文ヲ承テ書レタルモノナリ前段
トハ豐葦原乃水穗之國乎安國止平久所知食止アル
文ナリ

○下津磐根爾宮柱太敷立高天原爾千木高知氏

後釋ニコレハ神武天皇ヨリユナタ大和國ニ敷坐ル
皇大宮ヲ申セルナリ太敷立高知トイフ言ハ柱ニモ

千木ニモ殿ニモ國ニモカヨハシ云ヘレドモ敷トイ
フハ千木ニハ云ルコトナシ千木ニハ高知トノミイ
ヘリ云々
信云此ノ文普通ノ後世ノ文等ノ例ニ擬ヒテ作りタ
ルノトハ甚ク其赴ノ異ナルモノニシテ所謂根ノ堅
洲國ト云ヘルモ大地ノ根底ニ屬ル片隅國ナルヲタ
シニ知リ坐マス處ヨリ云ヒ出テ玉ヘルト同ジ言ニ
シテ柱ハ左ノミ淡クハ堀リ穿タテドモ室壽ニモア
ルガ如ク柱ハ太ク高ク云々磐根ノ極ニ衝立テ寶祚
ノ窮リ无キヲ祝ヒ奉ルニハ元ト高天原モ下津磐根
モイド詳細ク知シメシ給フ神ノ御上ヘヨリ云ヒ出
テ坐ル詞ニシアレバ必ラズ組畧カニ勿看過シゾ

○皇御孫之命乃美頭乃御舍仕奉氏

後釋ニ美頭ハ物ノサルハシキヲホメイフ言ナリ御
舍ハ御殿ナリ祈年祭ノ詞ノ御舍乎トアルニ從ラヒ
乎ノ字ハヨマサレドモ其コ、ロニテアル可シ云々
信云御代毎ニ大官造リ仕奉ルハ天之益人等カ功業
レナルコトヲ稱譽玉ヘルモノナリト隆正モ云リ

○天之御蔭日之御蔭止隱坐

後釋ニ隱ハ加久理ト訓ムベシ隱トハ御殿ノ蔭ニ覆
ハレテソノ内ニマシマスナイヘリ人ニ見ユシトカ
クル、ニハアラズ

○安國平氣久所知食國中

信云是ハ前段ノ豊葦原乃水穂之國乎安國止平久所知食止事依奉伎トアルニ等シク天下四方ノ國々ノ内ニナリト後釋ニモ云ヘリ

○成出武天之益人等我

考ニ古事記ニ伊邪那美命人一日絞殺千頭トノタマヘレバ伊邪那岐命吾一日立千五百産屋ト宣ヘリ之ニ依テ世人ハ死ヌルヨリ生ル、ガ多ケレバ益人トイフト云々

後釋ニ天之某ト云フハ元ト邇々藝命ノ天降リマレシ始メ天ヨリ持テ來リツル物ヲ云ヒ又天ノ物ニナラヒテ造レル物モ然ラヌ物ニモ專ニモ廣クホメテイフ如クナレルナリ考ノ説ノ如ク此人ハ此國ノ人

ナ云フナレハソノ本天神ノ生ミタマフ由ナレバ天之トホメ云フナリ云々信云渾テノ事物悉ナ天津御國ノ御風獸ノ普ク行ハレタル間最ト長ク天御國ニモ耻サル麗ハシキ御代ニナモアリケメ

○過犯あやまち家か牟む

後釋ニ諸ノ罪條ノ中ニハオノヅカラナル穢又オノヅカラナル穢ナトモアルソハ過犯トハ云フベカラザルニ似タレドモコ、ハ然委シク事ヲ分ナテ云フベキ所ニハ非レバ姑ク過犯セル罪ニ付テモ云フベク又オノヅカラナル穢災ナドモ其身コソ過犯シタルニハアラ子他ヨリイヘハソレモ同ジク過犯セルナリ上ニ所知食武成出武ト云ヘル武ハ後ヲカケタ

ル辭ナルニコ、ニハ家牟ト云ヘルケムハ過去ノ事
チイフ詞ナレバカノ武ト相叶ハヌガ如クナレト然
ラズ必ウズカクアルベキ語ナリ其故ハ先スベテニ
後ノ御代御代マテテ掛テ云ルナレバ武ト云フベシ
其中ニ此罪ヲ過犯シタル罪ヲ云ナレバ將來ヲカケ
テ云フ中ナカラモ是ハ必ラズ家武ト云フベキ理ナ
リ云々
信云此ノ家武ト云フコトノ往ク先ノ事ヲ疑ヒテ豫
メ云フ事ノミニ限ラズ悉ナ將來ヲ繫テ云ヒタルカ
如キ教令ナルモノナリ其始メ伊邪那岐命豫美ノ穢
レチ滌去ハラヒ給ハムニモ素ヨリ御心ニハ罪穢レ
ノアルニ非ザレバ大御體ニ觸レタル汚穢ヲウナシ
ホニ潜キ滌去祓へ給へリ然カナシ給ヒタルニ因テ

十二柱乃神等ノ生レ坐レ給ヒキシカアレバ此ノ十
二柱ノ神等ハ皆祓ノワザニアツカリ給フベキ理リ
ナルニ祓ノワザハ主ト四柱ノ神ノ司リ給フ事トナ
リタルモ天津宮ノ御制メ事ナリ又須佐之男命乃恒
ニ母ノ坐ス根乃堅洲國ニ罷リ給ハム御心ノシマシ
モ去リ敢ヘ玉ハズ人草多ニ夭折給ヘルハ此ノ大神
ノ神性ニシテ固ヨリ工ミ設テ爲シ給フニハアラズ
後ノ世人乃上ヨリ云フトキハ人草多ニ夭折給フナ
ドハ甚シキ罪穢レアルカ如シト雖トモ必ラズ否ラ
ズ此大神乃天ニ參昇リ坐テ誓テ立サセラレ正哉吾
勝勝速日天之忍穗耳命ノ生レ坐サレタルヲ以テ見
レバ聊モ御心ニハ素ヨリ罪穢ナドノ非ラヌ日ノ大
御神ニ亞テ貴トキ大神ニ坐シ給フコトヲ知リ辨フ

ベシ次ノ天津罪七條モ此ノ大神ノ犯シ給ヒタルモ
ノナレドモ今普通乃人ノ上ノ事ナトテ以テ事ノ似
タルカ如キヲ比較ベ等シ並ニナ思ヒ差ヒソ保食持
神ノ許ニ到リ給ヒテノ御爲ハタダニ其神ノ御身ニ
生レル種々ノ物ヲ採リテ奉進トスル態ヲ窺玉ヒテ
穢キ物ヲ以テ吾ニ養フゾト詔玉ヒテ迺劍ヲ拔テ
其宇氣母知神ヲ擊殺シ給フ云云トアリテ此ノ大神
ノ神性ノ穢キヲ見給ヒテハ忽テ御忿怒ヲ發サセ給
ヒテ物ヲ傷害ヒ給フハ素ヨリニテ宇氣母知神ノ鼻
口及タ尻ヨリ種々ノ味ツ物ヲ取テ御饗奉ムト爲シ
テ此大神ノ人ノ如ク朝夕ノ御食ヲ欠クコトナク聞
シ食シ給ハテハ御生活マシ給フ事ノ成リ得マシキ
御身ニモアラザレハ只其神性ノ穢レテ惡ミ給ヒテ

倏忽ニ禁メガタキ御荒ビテ爲レ玉ヒタルモノニシ
テ恐ユカレドモ其物ニ觸レ其事ニ當ラセ玉ヒテハ
ソノ神性ノ行ハル、モノトイフベレアナカシユ人
ノ上ノ事ナドヲ以テ似依リタル所ヲ數ヘ天津罪ノ
事ナドハ妄リニ口輒ク云フベキモノニアラズ

○雑々罪事

後釋ニ罪ハ都々美ナレハ罪事ハツ、ミ事ナリ雜々
ハ種々ニテ即次ナル天津罪國津罪ヲ先ツ一ツニ合
セテ云フナリ何ニ々々ト一、クサ々々々トカソヘ其
一ニ合セテ云フナリ云々

○天津罪

考ニ此ノ七ノ罪ハ須佐之男命ノ犯シ給ヒシ罪ナル

チモテ今、國人ノ犯セルモ其罪ノ類ナハ天津罪トイ
フ後釋ニ止ハ登天トイフ意ナリ云々信云此ノ天津
罪トイフ事乃天津官ニオキテ御制メ坐シ給ヒシ事
ハ序卷三條五條ニ其端ヲ論ヒ尙ホ處々ニモ云ヘル
ガ是ノ天罪ト云フ事ハ下ノ七ノ罪ノ條目ヲ傳ヘ來
リシガ此ノ罪ノ御制テ爲シ給フ所以チ衣食住ニ妨
害チ爲シタルニヨレリナド容易ク口逸ル者モ世ニ
マタ多シカシコキノ極ミナルモノナリ之レ幽隱育
微ニシテ肉眼ノ考ヘ就ク可キ事ニ非ザルカ故ニ唯
天津御國ノ御故事トシテ謹ミテ讀ミ奉ルベシ

○畔放

考ニ阿ハ田ト田トノ間ノ塚トシ又水ヲ貯フル料ナ

ルヲ取放ナテ界ヲミタリ水ヲモ港シメヌナリ
信云神代紀ニ春則毀畔トアリテ其阿チコボナテ港
ヘシ水ヲ放散レ棄ルヲ云フ云々

○溝埋

考ニ溝ハ遠ク水ヲ引テ田ニカケム料ナルヲ理メテ
永テ引ベキ由無ラシムルナリ云々

○樋放

後釋ニコノ樋ハ溝ニマレ池ニマレ構ヘテ常ニハ板
モテ塞キテ水ヲ貯ハヘ其水ヲ田ニ引用フベキ時ニ
彼ノ板ノセキチマ放ツ事ナルニ水ノ用ナキ時ニ放
テ漏シテ田ノ水ヲ溢レシメ且用アル時ノ貯ヘテ失
ハシムルナリ云々

○類蒔。

後釋ニシキハ重ナル意ニテ一度蒔置タル上へ又重
テ蒔蒔ヲ云フナリ云々

○串刺。

考ニ串ヲ多ク隠シ刺テ下立難カラシムルナリ後釋
ニ釋ニ紀云穢田トアルモ本ヨリ穢アル田ヲ云フ名
ナリ云々

信云然レドモ是ハ穢田ノ謂ニアラズ前ノ四ヶ條ハ
春時ノ妨ケナリ此ノ串刺ハ神代紀ニ秋則挿籥伏馬
云々

○生剝逆剝。

考ニ生剝ハ生ナガラ其皮ヲ剝クナリ逆剝モ同シ事
ナルヲ重テ云ルハ文ノ勢ヒナリ生剝ノ逆剝ト心得
レバ疑アラシ後釋ニ逆剝トハ凡テ獸ノ皮ヲ剝クハ
尻ノ方ヨリ逆サマニ頭ノ方ヘ剝モテ行ク故ニ云ナ
リ古事紀ニ穿其服屋之項逆剝天斑駒剝而所墜入ト
云ヘリ

○屎戶。

後釋ニ戸ハ借字ナリ久曾閉ト訓ベシ云々考ニ古事
紀ニ於聞食大嘗殿屎麻理散ト云ヘリ

○許々太久乃罪乎。

後釋ニ許々太久ト云フ事ヲコキダクコキバクコ、
ダクナド様々ニ云ルヲ萬葉ニ字ハ多ク幾許ト書リ

物ノ數ノ多カルヲ計ラズシテ大凡ニ云フ言ナリ云々

○天津罪 法別

後釋ニ法ハ借字ニテ宣別ナリ云々天照太神ノ某々ハ吾子ナリ某々ハ汝子ナリト分給ヘルヲモ詔別玉フトアルト同シ云々

信云是ハ天上ニテ須佐之男命ノ犯レ給ヒシ幽キ御ユワレノアリテ儀式帳ノ天津罪ト始マリシ罪者トアルガ如ク天津官事ノ御制定テ世ニ初メテ示レ給ヒシモノナリ

○國津罪 止ハ

後釋ニコハ此國ニシテイフ言ナレハ天ツ罪ヲバ別

ケ云フトモ國ツ罪トハ云フマジキ通リナレドモ天ツ罪ヲ別ケ云フニツキテソレニ對ヘテ其外ノ罪トモテ國津罪トハ姑ク云フナリ止ハ天ツ罪ノ方ニハ止トノミイヒテコ、ニカクイヘルハマツ天ツ罪ヲ宣別テサテ國ツ罪トイフハ某々ト云フナリ云々

○生膚斷死膚斷

後釋ニ二ツノ斷ハ用言ナレドモ躰言ニシテ罪ノ名トシテヨムベキコト畔放ナドノ例ノ如シサテコハ生ル人ニモアレ死屍ニモアレソノ膚ニ疵ヲツクル穢ヲ以テ罪トスルナリ人ノ身ヲ傷フ惡行ノ方ヲ以テ罪トスルニハアラズ其疵ヲ穢トスルナリサレハ他ニ疵ツクルノミナラズ己ガ身ニ疵ツクルモ同シ事

ナリ云々斷ハ切ルヲ云フ必ラズ切離ツ事ノミニハ
アラズ云々

○白人胡久美。

後釋ニ白人ハ和名抄ニ白癩ハ人面及身頸皮肉色變
白云々者也。之良波太。胡久美ハ同書ニ瘰癧寄肉也和名。
阿萬之々。贅肉也一云古久美トアル是ナリ其次ニ羣
タル附贅懸疣ナドモ同シ類ナリカクテ此類ハ共ニ
キタナキモノナル故ニ穢ヲ以テ罪トスルナリ推古
天皇ノ御世ニ參來タリシ百濟人ノ斑白ナリシモ白
人ノ類ナル書紀ニ履中卷ノ淡路嶋ニ坐ス神ノ飼部
ノ黥ノ疵ノ鼻ヲ惡ミ給ヒシ事云々サテ穢ニヨリテ
此類ノ病ノ直ルニハアラザレドモ穢ツ物ヲ出レテ

穢ヘハ其穢ノ清マルナリ

○已母犯罪已子犯罪。

後釋ニ古事紀仲哀天皇御段大坂ノ處ニ上通下通婚
トアル是ナリタゞ母タゞ子ト云ズシテニツ共ニ已
トイフハ次ノ母與子犯罪云々ノ母子トハ同シカラ
ザルコトヲ顯ハセルナリ云々

○母與子犯罪。

子アル女ニ娶ヒテ後ニ其子ヲモ犯スナリ云々

○子與母犯罪。

母アル女ニ娶ヒテ後ニ其母ヲモ犯スナリ
後釋ニ母ト子トナト上トニ置換タルノミニテ其

事ノ二ニ能分レテ聞ユルハ後人ノ及バザル文ナリ云々

○畜犯罪カウノトキノトキ

考ニ古事記ニハ馬婚牛婚鶏婚犬婚ナドアルヲコ、ニハ略キテイヘル歟後釋ニ畜ハ氣母能ト訓ベシ書紀ニ畜産トアルヲケモノト訓ミ獸トアルヲケダモノト訓メリ云々ケダモノハ毛津物ノ意ナルベシケモノハ飼物ノ加比ヲツビメテ伎ナルヲ氣トイヘリ云々毛物ノ意ニハアラジ應和二年橘恭胤ガ家ノ下男ノ犬ヲ犯セシ事日本記畧ニ見ユ云々信云茲ノ犯シドモハ淫欲ノ熾ナルヲ禁メ難ク忽チ畜生心ニ化リシモノナリ新井白石ガ鬼神論ニ至淫

ナル者未タ化セザルノ狐ナリトウベナリ彼ノ牛哀ガ虎ト化リタルガ如ク其物ニ容貌ノ化ハル事ナドガ疑ヒノアルベキ恒ニ無キヲ以テ勿ウタガヒソ

○昆虫ヒョウリシ乃災カキヒ

後釋ニ昆虫ハ波布牟志ト訓ベシ雄略天皇ノ御歌ニモ波布牟志母トアリ虫ハハフ物ナル故ニスベテ虫ヲ然言フナリ鳥ヲ飛鳥トイフモ同シ又雨ヲフル雨花ヲ咲花トイフ類ナリサテ是ヨリ三條茨ヲモテ罪トスルナリ云々上ツ代ニハタマナベテコノ害ノ多カリシニモ有ベシ今ノ世トテモ蝨蟻蚊蜂ナドニササレテナヤムコトナキニアラズ都美ト云フハ惡行ノミニアラズ穢モ災モ都美ナリ云々

○高津神乃災。

後釋ニ高トハ空ヲイフ云々高津神トハ雷ヲ云フナルベシ俗ヲ天狗トイフモノニトラルムナドモ高津神ノ災トイフベシ云々
信云神ノ守リヲ失フトキハ職ヲソノ虚ヲ厲狂フ禍ガ神ノ時ヲ得テ如狹蠅モノナレバ天狗ト云フモノミニ限ラズ凡テ形ヲ隠セル術ヲ知レルモノハ狐狸ニヨラズ人ノ惡靈ナドノ崇リヲナシテ人ヲ苦シメ終ニハ其人ヲ殺スナドアルハ多クハ窓ヨリ入ルト云ヘレバ是亦高津神ノ類ヒナルベキカ陰正モ云ハレキ

○高津鳥乃災。

後釋ニ高ツ鳥ハ空飛鳥トイフ意ニテタゞ鳥ノ事ナリ云々大殿祭ノ詞ニ天乃血垂飛鳥乃禍無久トアル血垂ハ應仁天皇ノ御歌ニモ、ナゲル家庭ト詠セ玉ヘル古事記ニ登陀流トアリソハ上代人ノ家ノ屋根ノ竈處ノ上ノ煙ヲ出ス處ノ名ナリ其上ヲ飛渡ル諸ノ鳥ノ毒ナドアル糞又サラデモ毒キ物ナド昨來テ竈ノ上ヘ落ス事ナドアリテ其毒ニ中ル類ヒ是レ高ツ神ノ災ナリ

○畜仆志。

後釋ニ畜ナトノ死ヌルヲ多布流ト云フ斃殮ヲドノ字ヲ書リ多布志ハ令斃ニテ殺スヲ云フ是レハ其罪ノ目ニイヘルナレバ云々躰音ニ讀ムベシ何ナル

ワザカ詳カナラテド思フニ上代人ノ家ニ養ハル牛馬ナドテ忽チ斃レシムル術ナド有テ行ヒシ事ゾアリケム書紀ニ大國主神ト少彦名ノ神ト爲顯見蒼生及畜産則定其療病之方トモ見ヘテ上代ニハ畜ヲモ重クモシコトナリ云々又鬼魅魍魎ノ類人家ノ畜ヲ忽チニ病斃レシムル事アリ
信云是レ皇明通記ニ舉ゲタル黒青ノ類ヒナラム歟コ、ノ人ノナスワザトハ異ナリ

○蠱物爲罪。

後釋ニ字鏡ニ蠱ハ萬自物トアリマシナヒ物ノ意ニテ人ヲノロヒ詛フトテ構フルワザナリ云々マシ物ノ罪ト云ハズレテ此ニノミ爲ルト云フテ加ヘテイ

ヘル故ハダマシ物ノ罪トノミニテハ人ニマシ物セラレタルモ災ニテ罪ナルニマガフガ故ナリサテ畜仆志モコレト一類ニシテ此ノ二ハ上ナル奸ノ類トハ罪ノサマ異ナルガ故ニ中間ニ災ノダグヒノ罪ヲヘダテ、コ、ニハ舉タルナリ云々

○許々太久 罪出武。

後釋ニコハ罪ノ條目ノ多キチイフニアラズ大祓ノ時國民ドモノ犯シタルガ多ク出武トイフナリ古事記ニクサク求トアル如クナリ云々前ノ許々太久乃罪トアルニ同シク大祓ノトキニ求ルニ右ノ類ノ罪ドモチ萬民ノ犯シタルガ多クアルチ云フ都美トイフハモト人ノ惡行ノミニハ限ラズ病モ口くくノ

禍マタ穢キ事醜キコトナド其外モスベテ世ニ人ノ
ワロシトシテニクミキラフ事ハミナ都美ナリ云々
生膚斷ヨリ故久美マデハ穢ヲ以テ罪トス巳母犯ヨ
リ五條ハ姦ナリ昆虫乃災ヨリ三條ハ災ニアフヲ以
テ罪トスルナリ末二條ハ惡行ナリカク四種ノ中祓
ノ要ハ穢ヲ以テ罪ノ主トス云々神祇令ニ預穢惡事
ノ本注ニ祓詞所云天罪國罪之類皆神之所穢所惡也
云々又カクケガレテ罪トスルニ准ヘテオノヅカラ
アル災モ亦罪ナルコトヲモサトルベシ又姦ケノ類
ヲハ下ナル畜仆蠱物トツゞケテハ擧ケズシテ中ニ
災ノ類ヲヘダテ、別ニ擧タルハヒタフルニ惡行ノ
方ニハアテテ別ニ故アリテ祓ヒ清ムベキ罪ナラム
云々抑十條余リノ中ニ姦ケノ類バカリヲ五ツ擧ケ

古事記ノ仲哀天皇ノ段ニ見エタルニモ國罪五條ヲ
擧ル皆姦ニシテ他罪ハナレ又畜仆蠱物ハ正シク惡
行ヲトレリトハ聞ユレドモゴレハタ別ニ故アルニ
ヤ又人ヲ傷ナフ罪ハナホ外ニモクサク々重キガ有
ベキニ殊ニ畜仆蠱物ヲシモ擧タルモ故アルベキニ
ヤ上代ノモロク々ノ罪ヲ治ムルニ刑ト祓ト有テ刑
フベキ罪ト祓ヲ負スベキ罪ノ異リアリケムガ其異
リハ或ハ重キハ刑ヲ輕キハ祓ニヤト見ユル事モア
リ云々コノ大祓ニ擧ラレタル條目ドモく諸ノ罪ノ
中ニテ刑ヲフベキ罪ニハアラテ必ラズ祓ヒ清ムベ
キシナヅゞニソアリケムカシ然ルニ世クダリケル
マニく々刑ノ方シゲクナリテ祓ヲ負ハスル事ハ漸
々ニスクナクナリモテユキテ中昔ニ至リテハ祓ノ

法リハタゞ神事ニ預カレル事ニノミ用エラレ又イ
ヨイヨ世クダリテハソノ神事ニスラ祓ヲ負ハスル
法ハ絶エタルナリ云々
信云此ノ大人ノ學ビノ幽顯ニ出入スル世ニ双ヒナ
キ大學ノ濶遠ナルヨリシモ中々ニ窮メ難キ事ノ多
クシテ如此ハ試ミニニアゲツラヒタルマデナル程ノ
ワザナレバ初學^{ハジメ}ビノ徒ヲナドハ人事ニ係リタルバ
カリノ世ノ法律ナドヲ以テ漫リニ評論^{アハカシ}ラフコト勿
カレ

大祓踏分草講説上編終

